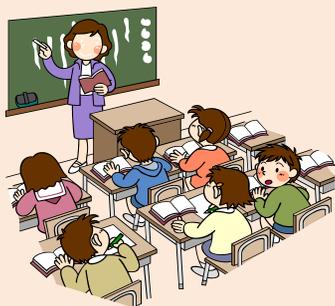


能勢高校ニュースレター 2013新春号



新年明けましておめでとうございます。
おだやかな初春をお迎えのこととお慶び申し上げます
能勢高校では、多くの皆さんに教育活動や能勢高生の活躍ぶりを知って
いただくため、学期ごとに「能勢高校ニュースレター特集号」を発行して
います。今回の新春号では、2学期の活動を中心に構成いたしました。
ぜひご覧ください。ホームページでも情報を発信しています。

全国高校生『観光甲子園』で優秀賞を受賞

「能勢の味覚と悠久の時間を求めて～伝統の味で綴る旅～」という観光プランにより、全国ベスト10に選ばれ、8月26日（日）神戸夙川学院大学での本選への2年連続出場を果たしました。

メンバーは、3年次生の岩田明子さん、木本千晶さん、加堂汐梨さん、2年次生の上田杏奈さん、桂仁君、野瀬楓水さん、石塚菜々さん、上田夏美さん、川原怜君、向井真琴さんの10名。当日は、観光バスをチャーターし、「能勢高校を応援する会」、保護者や職員、生徒、能勢町教育委員会、観光協会など、多くの方々が応援にかけつけました。

今回の発表は、パワーポイントを中心に人形浄瑠璃まで駆使して、能勢の魅力を存分に伝えてくれるものとなりました。事前に実施したモニターツアーでは実際の観光客を招き、そのアンケートの分析により、ゼフィルスの森、棚田、古墳、能勢温泉、野間の大けやき、本校農場を巡るなど、より実現性の高いツアーにすることができました。また、名月姫の伝説の紹介では、大河ドラマ「平清盛」ともリンクさせ、漫画を描き下ろすという生徒たちの特技を活かした内容をプレゼンテーションに織り交ぜることができました。

結果は、目標のグランプリには届きませんでしたでしたが、昨年に続いての優秀賞「日本旅行業協会会長賞」を受賞することができました。「観光甲子園」への参加により、能勢高校の生徒たちの学習活動の充実はもとより、能勢高校が地域の発展・活性化に貢献できる学校であることをあらためて感じました。今後も地域の方々から町ぐるみで応援していただくことにより、能勢高校と地域とがWin-Win（ウィン・ウィン）の関係になるよう学校づくりを進めていきたいと考えています。



人形浄瑠璃の人形も登場したプレゼンテーション



応援団との記念写真

能勢高校を応援する会 総会を開催

8月22日(日) 本校の教育活動を支援していただくため設立された「能勢高校を応援する会“町ぐるみ応援団”」第3回総会が、総勢150名の参加のもと、浄るりシアターで開催されました。まず、西田彦次 会長の挨拶にはじまり、多くの来賓より祝辞をいただきました。また、マスコットのクリカ(本校1年 細見結美さん作)が披露されました。本校からは、ユネスコクラブ生徒が平成26年度の「ASPnet 高校生世界フォーラム」に向けての取組を、観光甲子園プロジェクトチーム生徒が「能勢の味覚と悠久の時間を求めて～伝統の味で綴る旅」を発表しました。



クリカ



海士町教育委員会の浜板先生

さらに、島根県海士(あま)町教育委員会派遣社会教育主事の浜板健一先生から、高校の魅力化を地域の活性化につなげていく取組を進めている「隠岐島前高校魅力化プロジェクト」の経緯や成果などについて講演していただき、能勢町と能勢高校に対し力強いエールを送っていただきました。

第1回 能勢高校 学校協議会を開催

今年度から、あらたに大阪府立学校条例が制定され、「保護者等との連携協力、学校の運営への参加の促進及び保護者等の意向の反映するものとして」学校協議会を設置することになりました。



9月18日(火) 委員の皆さんに5・6限の授業を見学していただいた後、本校校長室において第1回の学校協議会を開催しました。内容は、①学校長挨拶②委員紹介・事務局員自己紹介③運営マニュアルについて④承認事項 実施要項・保護者からの意見書⑤会長・会長代理委員の選出 ⑥協議事項(学校経営計画、平成25年度使用教科書の選定、本校の課題、各分掌における今年度の重点取組)としました。

2012年度 能勢高校 文化祭を開催

9月29日(土) 地元小中学校、PTA、「能勢高校を応援する会」「オイスカ関西研修センター」「大阪大学モンゴル今岡教授ゼミ」「NGO 三陸アシスト」などの協力のもと、「能勢高Fire～もっと熱くなれよ!～」というテーマで文化祭を開催しました。能勢高生は、舞台や展示、模擬店等に大活躍しました。また、東日本大震災から1年半。東北への復興支援の募金活動として、1年次生が中心となり、「奇跡の一本松保存募金」(陸前高田市)を行い、陸前高田市 戸羽市長に募金を手渡すこともできました。



小中高連携企画
「こころでつなぐ災のきずな」



陸前高田市 戸羽市長(中央)
に募金を手渡しました。



大人気の農産物販売

小中高PTA研修会・中高ソフトバレーボール交流会

研修会のあとの記念写真



10月13日(土) 秋晴れの天候にも恵まれた日に、農場で恒例のPTA研修会を行いました。この研修会には、2年前から能勢町内の小中学校のPTA役員の方々にも呼びかけ、参加をいただいています。今回の内容は、「ブドウジュース作り」と「福助菊の仕立て方」の2講座でした。

12月1日(土) 本校体育館を利用して、東中学校、西中学校のPTA役員の方々とのソフトバレーボールの交流試合を行いました。試合は、本校の3チームと両中学校それぞれ1チームの合計5チームで行いました。

試合後は、参加者の自己紹介などを通じ、交流を一層深めることができました。



白熱したソフトバレーボール

税の作文コンクールで豊能税務署長賞を受賞

2012年度「税に関する高校生の作文」において、本校3年の岸本真帆さんが「税について思ったこと」というテーマで応募し、見事に豊能税務署長賞を受賞しました。

11月26日(月)、豊能税務署長さんが本校を訪れ、賞状を授与していただきました。



中央が岸本さん 右から二人目が税務署長さん

能勢町人権と平和のつどいで発表

12月2日 浄るりシアターで開催された能勢町人権と平和のつどいで、上田杏奈さんが、「持続可能な社会をめざして、私にできること」という表題で意見発表を行い、野瀬楓水さんが上田さんの紹介をしました。

上田さんは、国際社会における児童労働の深刻さ、募金活動やボランティアの大切さ、世界の現状を知ること、伝えることの必要性などを訴えました。



野瀬さん 上田さん

がんばっているクラブの紹介 シリーズ1 サッカー部

全国高校サッカー選手権大阪大会を兼ねる夏の大阪総体に、久々に出場を果たしました。対戦相手が強豪校のため、結果は敗戦となりましたが、選手たちは最後まであきらめることなく真剣にプレーしていました。

現在、選手11名、マネージャー1名で活動しています。平日は毎日練習しており、土日には合同練習や練習試合に取り組んでいます。

また、地域の中学校に声をかけ、希望者を招いての練習会も昨年10月に初めて開催したところです。入学後、是非サッカー部に入ってくれたらと思っています。



【大阪総体 2012.8.26】 能勢高(白黒ユニフォーム)

11月21日(水) 能勢高校において約200名の参加のもと、第10回目となる、「能勢地域小中高一貫教育・連携型中高一貫教育研究発表会」(大阪府教育委員会・能勢町教育委員会主催)を開催しました。

第一部では、本校の教員による連携中学3年生を対象にした高校での学習内容を先取りした発展的な授業や外部講師を活用した幼児、小中学生、保護者、地域の方々との交流など、総合学科の4系列(人文・理数系列、国際・情報系列、人間・環境系列、食・花・交流系列)それぞれの特徴的な授業実践を公開しました。

第二部では、本校ユネスコクラブの生徒たちの活動報告、京都造形芸術大学 寺脇研教授をコーディネーターとして招き、公開授業の「心理学入門」での熟議を発展させる形で、「能勢町をデザインしよう!」をテーマにしたパネルディスカッションを行いました。本校生3人にNPO CORE+代表の武田緑さんと能勢高校を応援する会の西田彦次会長をまじえ、活発な意見交換となりました。



中高生が交流した「自己表現講座」



パネルディスカッション

「がんばれ能勢高生」 ～先輩からのエール～



夢や希望でキラキラした思いがいっぱいの高校時代、青春まっ只中ですね。そして現実のいろいろな事で悩んだりする悩みの多い時代でもあります。

そんな時、本を読んでみてください。きっとキラキラの思いで満たされることでしょう。

青春時代はあっという間に過ぎます。青春時代という歌に「青春時代が夢なんて、あとからほのぼの思うもの」とあります。今を生きる高校生みなさん、一日一日を大切に、お父さんお母さんを大切に頑張ってください。 昭和49年卒 田口 広子さん のせ保育所 保育士

能勢高校に入った時は、特に行きたい大学や就きたい職業はありませんでしたが、総合学科特有の多彩な選択科目の中から心理学の授業を取ったことにより心理学に興味を持ち、自身のやりたいことを見つけることができました。今は臨床心理士指定大学院に通い、臨床心理士をめざして日々心理学に関するたくさんのことを学んでいます。

能勢高校では将来の夢を見つける機会がいたるところに存在しています。たとえ今、具体的なものを心に持っていなくてもそれらをこれからの高校生活で見つけて行ってほしいと思います。



平成19年卒 善部 沙耶さん
梅花女子大学大学院
現代人間学研究科 心理臨床学専攻
修士課程2年目

能勢高校で農業クラブの活動や農業の授業を通して、いろいろな体験ができ、希望していた近畿大学農学部に進学することができました。

大学では、より深く農業や生産のことを学んでいます。また、同じように将来農業に携わりたい友人とも交流ができ、とても楽しく充実しています。

能勢高校の生徒の皆さんも、様々なことが学べる能勢高校でいろいろなことを経験して、自分がしたいことを見つけそれに向かって進んでいけるように頑張ってください。



平成22年卒
西河 大輔 さん
近畿大学 農学部
農業生産科学科
園芸植物学研究室 3回生